

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	私立保育園運営委託事業		コード	02-01-01-03
			担当課・係	福祉事務所児童福祉係
事業実施期間	S23~		担当者	藤田
			電話	64-1825
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	子育て支援		

事業について	
目的 (何のために)	生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期の子どもを、就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育し、健康で豊かで人間性を持った子どもの育成に寄与する。
対象 (誰・何を対象に)	私立認可保育園
内容	関係法令等により規定された負担割合による国県市負担金を財源とした私立保育園運営委託料

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
私立保育園運営委託事業	年間平均入所者数 13	年間平均入所者数 12	
	定員数 20	定員数 20	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費 人件費	2,682 2,410	間接補助金等 受益者負担	13,016 3,297	直接事業費 人件費	17,239 532	間接補助金等 受益者負担	9,481 3,468	直接事業費 人件費		間接補助金等 受益者負担	
	合計	24,092	一般財源等	7,779	合計	17,771	一般財源等	4,822	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.25	人	0.07	人
結果指標名	年間平均入所者数(私立)		年間平均入所者数(私立)	
結果指標量	13		12	
単位	人		人	
対前年比			92.31%	
活動にかかるコスト	24,091,650 円		17,770,885 円	
単位当たりコスト	1,853,204 円		1,480,907 円	
結果指標名	充足率(私立)		充足率(私立)	
結果指標量	65.0		65.0	
単位	%		%	
対前年比			100.00%	
活動にかかるコスト	円		円	
単位当たりコスト	円		円	

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	入園希望者に対し待機児童数を無くすることで事業目的を達成させる。また、充足率が上昇することによって、単位当たりコストが下降し効率化が図れる。		
成果指標名	待機児童数	式又は説明	
	17年度	18年度	
成果指標量	0人	0人	
対前年比			
到達目標値	0人	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>	C
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等： 児童福祉法他	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	関係法令で定められており、適正な算定が必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E>
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	公立保育園のない地区に設置されている市内唯一の私立保育園である。市民サービスの面からはよいが、コスト削減の上からも運営に必要な園児数の確保、保育料の見直し等を考える必要がある。
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E>
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	少子化傾向の中で子どもの数が減少しているが、保育園の役割、需要が増大していると考えられる。	

平成19年度の状況		説明	4月1日現在の園児数は、9人である。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 20人	結果指標量	100%
	成果指標量 0人		

総合評価	評価区分 <A~E>	C
国県市負担金を財源とした委託事業のため、今後も適正に算定し、事業を継続して行う必要がある。		

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	保育料の改正(受益者負担増)	長期	市負担額が軽減される。